

ホセア書 2:1-3:5 贖いの描写

先週、ホセア書の冒頭で、ホセアの姦淫の妻であるゴメルに反逆の描写を見ました。自分たちの神を捨て、偶像を礼拝するイスラエルの民の不信仰な姿がそこには描かれていました。私たち皆が生まれながらゴメルのように、創造主である神に対して不誠実であるということを指摘しました。そしてこの不誠実さ、神への反逆を、私たちは罪と呼びます。今日はホセア書の2章1節から3章の終わりを見ていきますが、そこには贖いの描写が描かれています。それは、私たちの反逆と不誠実に対する解決策でもあります。ホセア書 1:4-5 で語られたことを、神がどのように翻されたのか、その説明が必要です。「主は彼に言われた。「その子をイズレエルと名づけよ。しばらくすれば、わたしがイズレエルでの流血のゆえにエフーの家を罰し、イスラエルの家の王国を終わらせるからだ。5 その日、わたしはイズレエルの平原で、イスラエルの弓を折る。」

ですが、ホセア書 2:1 では「言え。あなたがたの兄弟には、「わたしの民」と。あなたがたの姉妹には、「あわれまれる者」と。」ということばで終えています。イスラエルは自分の思う道を進み、神のことなど気にも留めませんでした。それが神の御前での彼らの実情であり、神の御前での私たちの実情でもあります。では、どうすれば神の民となり、神の憐みを受けることができるのでしょうか。この箇所に見られるのは、反抗的な人々をご自分の民とする、神の贖いの御業です。全ては神の憐みと御業によるのです。

ですが、贖いの前に、神が彼らの歩む道を戒めようとしておられるにも関わらず、人々が反抗し続ける姿に目を留める必要があります。ホセア書 2 章の 2 節は、イスラエルの反抗的な姿を描くところから始まり、おそらくホセアの妻ゴメルの実際の行動についても言及しています「2 「問いただせ。あなたがたの母を問いただせ。彼女はわたしの妻ではなく、わたしは彼女の夫ではないから。その顔から淫行を、その乳房の間から姦淫を取り除け。3 そうでなければ、わたしは彼女の衣をはぎ取って裸にし、生まれた日のようにして彼女をさらし、荒野のようにし、砂漠の地のようにして、 渴きで彼女を死なせる。」ホセアの子ども達の描写を通して、イスラエルの民は、その罪ゆえにご自身の民ではないと神は言われました。そしてホセアは自分の子ども達に、母親の行いが彼女を自分から引き離れたのだということを明確にする必要があると言っています。もちろん、これはゴメルの事だけを言っているのではなく、イスラエルの状況も同時に表しています。英語では plead (嘆願する) という言葉が使われていますが、ここでの意味を伝えるのに最適な語彙とは言えません。むしろ、母親を呼び出し、その行動を叱責すると同時に、彼女が変わるように求めるべきだという意味です。子ども達は自分たちが母親の罪に引き込まれてしまわないよう、母親が自分の夫から距離を置いたのと同じように、母親から距離を置かなくてはなりません。また、彼らは母親の行動について警告を与えるのに最適な立場にありました。結局のところ、イスラエルが罪におぼれ、神を拒み続けても、満足を得ることはできません。彼らが神を拒んだのは、自分たちを造って下さった聖書の神ではなく、偽りの神々の中に自分たちの必要を満たすものがあると考えたからです。5 節の後半を見てください。「彼女は言ったものだ。『私の愛人たちの後について行こう。彼らはパンと水、羊毛と麻、油と飲み物をくれる』と。」とあります。ですが、7 節にはこうあります。「7 彼女は愛人たちの後を追っても、追いつけない。彼らを捜し求めても、見つけられない。」サタンは罪を非常に魅力的に見せますが、神は私たちが罪のために造って下さったのではありませんし、罪は私たちが思うような満足を与えてくれるわけでもありません。それは、この世で本当に義なるもの、道徳的に正しいものは、サタンや罪からではなく、神ご自身から来るものだからです。ヤコブの手紙 1:17 にこうあります。「17 すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。父には、移り変わりや、天体の運行によって生じる影のようなものはありません。」神はこの事実によって私たちをご自分に引き戻そうとされておられるかのようです。それが 7 節以降に見られることです。ホセア書 2:7 の後半から見ていきます。「彼女は言う。『私は初めの夫のところに戻ろう。あのころは今よりも幸せだったから』と。8 しかし彼女は知らない。このわたしが、穀物と新しいぶどう酒と油を彼女に与えたのを。わたしが銀と金を多く与えると、 彼らはそれをバアルに造り上げたのだ。」罪によって満足を得ようとして失

敗したことによって、彼女は自分の創造主である神のもとに戻るはずでした。彼女が姦淫関係から得ようとした水や、羊毛、亜麻、油、酒の代わりに、神は穀物とぶどう酒と油、そして銀と金を与えてくださったのは神ご自身であると言われます。つまり、神はご自身を拒んだ人々に富をお与えになったのに、人々は神を礼拝する代わりに、その富を用いて他の神々、特にバアルという偽りの宗教の神を礼拝したのです。人々を祝福しても上手くいかなかったので、人々が神を認め、神の元に立ち返るよう、すべての祝福を取り去ると神は言われました。9節は「9 それゆえ、わたしはその時になれば、わたしの穀物を取り返す。その時期になれば、わたしの新しいぶどう酒を。また、彼女の裸をおおっているわたしの羊毛と麻をはぎ取る。」と語っています。これら全てのものが神のものであることを理解する必要が人々にはありました。それは彼らの罪深い関係や行いから得られたものでもありませんでしたし、そもそも彼らのものでもありませんでした。ですが、人々は貪欲さゆえに、自分が持っているものは自分のものだと考え、その祝福と富の真の源を認めることが出来なかったのです。ホセア2章の12節を見て下さい。「12『これは、愛人たちが払ってくれた私への報酬』と彼女が言った、あのぶどうの木といちじくの木を荒れすたらせる。わたしはこれを林に変えて、野の獣が貪り食うようにする。つまり、かつて神の民であった者たちが、他の様々な愛人や偶像に身を売って得た財産を、神が破壊すると言っているようなものです。

2章は人々の罪に対する裁きの言葉で終わっています。神は人々が神に立ち返る必要があることを理解させるため、自分の子ども達から罪を指摘されることを含め、あらゆるものを奪い去ろうとされます。そして13節で、聖霊なる神はホセアを通して語られ、バアルを礼拝するために用いられた金や銀に話を戻されます。「13 彼女がバアルの神々に仕えた日々のゆえに、わたしは彼女を罰する。彼女はバアルの神々に香をたき、耳輪や飾りを付けて愛人たちの後について行き、このわたしを忘れた。——主のことば。」ここに描かれているのは、他の男に自分の身を売って夫を欺いている妻、ゴメルであることを思い出して下さい。そして、その例えは、イスラエルの民と彼女の行動の間で行ったり来たりします。結婚や姦淫というある意味生々しい例えは、バアル礼拝という偶像礼拝にうってつけです。それは、神殿での売春がバアル礼拝の重要な部分だったからです。つまり、人々がこれら偽りの神々を礼拝するとき何をしてきたのかをとて象徴する例えです。そして、姦淫や偶像礼拝という罪は必ずしも醜く見えません。宝石や指輪で着飾っています。実際、罪は良く見えたりします。虹はもともと、神の約束を象徴するものとして神から与えられたものでしたが、今では神に逆らうことを誇る人々を象徴しています。ポルノは一般的に現実ではなく、完全な幻想を描こうとするものです。あなたの結婚生活は刺激がなく大変な一方、一緒に働いている女性や男性は素敵で楽しい人たちです。あなたが欲しいものは神が与えてくださったものよりも魅力的に見えます。例を挙げればきりがありません。サタンはクリスチャンを神から遠ざけ、罪を用いて人々が救いのためにイエス・キリストに立ち返らないようにするにはどうすれば良いのかを知っています。ですが、私たちが見逃していることがあります。モーセについて、ヘブル人への手紙11:25はこのように言っています。「25 はかない罪の楽しみにふけるよりも、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。」罪から得られる喜びは一時的なものです。ガラテヤ人への手紙6:7は「7 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります」と言っています。またローマ人への手紙6:23には「23 罪の報酬は死です。」とあります。

ですが、今日の説教は先週見たような反逆の描写に目を向けるものではなく、この反抗的な民に神が与えてくださる贖いの描写に目を向けるものです。なぜなら、神がご自分の民として人々を造られたにも関わらず、彼らの罪を裁くと約束された後、人々を完全に拒絶することから始まり、2章の終わりには驚くべきことが起こるからです。私たちは皆、神から造られた存在ですが、イスラエルやゴメルのように神に反逆しました。けれども、それは救いのために選ばれた者たちに神がどのように接してくださるかを示しています。14節を見て下さい。「14 それゆえ、見よ、わたしは彼女を誘い、荒野に連れて行って優しく彼女に語ろう。」素晴らしいことです。神がご自分の民を求めておられる。イスラエルは神を求めてはいませんでした。どんな裁きも拒

絶も、人々の心を神に向けさせませんでした。そこで、神は人々を偶像のいない荒野に連れていかれました。人々が自分のものだと思っていた全てを取り去り、憐れみと愛の言葉を語られました。そして、取り去ったものを再び彼らにお与えになりました。15節を見て下さい。「15 わたしはそこを彼女のためにぶどう畑にし、アコルの谷を望みの門とする。」神はぶどう畑を取り去られましたが、それを回復し、神の裁きゆえに人々が置かれた飢餓と拒絶の荒野での生活に希望を与えられます。そして16節では彼らを花嫁として整えられます。「16 その日になると——主のことば——あなたはわたしを『私の夫』と呼び、もう『私のバアル』とは呼ばない。17 わたしがもろもろのバアルの名を彼女の口から取り除く。その名はもう覚えられることはない。」

この箇所を中心となっているのは人の結婚ではありませんが、傷ついた婚姻関係に希望を与えてくれます。この20年、多くの罪に侵された夫婦をカウンセリングしてきた経験から、どんなに失敗を重ねたとしても、結婚関係を修復することができるように、私たちと神との関係も回復することができることを知っています。そしてその回復は私たちが神を求める事によってではなく、神が私たちの人生に介入してくださることによって起こります。神はご自分の民への愛ゆえに、人々を誘って下さるのです。そして19節に進むところあります。「19 わたしは永遠に、あなたと契りを結ぶ。義とさばきと、恵みとあわれみをもって、あなたと契りを結ぶ。20 真実をもって、あなたと契りを結ぶ。このとき、あなたは主を知る。」神を拒み、神の民ではなかった人々に、神と永遠に契りを結ぶことが約束されています。その関係は、彼らが明らかに犯した罪に基づくものではありません。神の義と、神が決して罪を犯されないことに基づいています。彼らも、もちろん私たちも持たない、罪を罰し、善に報いずにはおられない神の正義に基づいています。罪あるものであるにも関わらず、彼らに対して注がれる神の揺るぎない愛に基づいています。そして、この神との関係は結局のところ、罪人に対する神の憐れみに基づいています。なぜなら、創造主に対して罪を犯した私たちは、誰一人としてその関係に値しない存在だからです。私たちの価値に基づくのではなく、完全に神とそのご性質に基づいて築かれる関係は、信頼できる関係です。「真実をもって、あなたと契りを結ぶ。このとき、あなたは主を知る。」私たちは信頼に値するものではありません。神を失望させ、罪を犯します。ですが、神は真に赦し、回復して下さいます。23節では、ホセアが子ども達につけた名前から、その結末を見ることが出来ます。「23 わたしは、あわれまれない者をあわれむ。わたしは、わたしの民ではない者に『あなたはわたしの民』と言い、彼は『あなたは私の神』と応える。」ここに私たちにとって本当に素晴らしく、重要な点があります。民として神に拒絶されたものの、その一部は神の民として選ばれていると告げられたユダヤ人に向けて書かれた書物は、ローマ人への手紙で私たちにも向けられています。ローマ人への手紙:22-26にはこうあります。「それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。23 しかもそれが、栄光のためにあらかじめ備えられたあわれみの器に対して、ご自分の豊かな栄光を知らせるためであったとすれば、どうですか。」「あなたはわたしの民」「わたしはあなたの神」と語りかけられた憐れみの器に、ホセアの言葉は向けられました。その重要な部分が9:24以降の部分です。「24 このあわれみの器として、神は私たちを、ユダヤ人の中からだけでなく、異邦人の中からも召して下さったのです。25 それは、ホセアの書でも神が言っておられるとおりです。「わたしは、わたしの民ではない者をわたしの民と呼び、愛されない者を愛される者と呼ぶ。26 あなたがたはわたしの民ではない、と言われたその場所で、彼らは生ける神の子らと呼ばれる。」憐れみゆえに反逆する民の一部を神がご自分との関係に誘って下さるといふ約束は、私たちにとって更に重要なものです。それは、神の憐れみを受けるのはユダヤ人とどまらず、旧約聖書の中で選ばれた神の民にもとどまらず、旧約聖書では選びの中になかった異邦人も含まれるということだからです。今日ここにいる、ユダヤ人ではない、キリストを知る私たちは、神が関係を持つために選んで下さるといふ憐れみを受けたことに心から感謝です。神の民でなかった私たちは、神の愛と憐れみゆえ、選びによって、またその義によって神の民とされるのです。

神はその回復された姿を、ホセアとゴメルの関係の修復を通して示してください。5節しかないホセア書3章を見て下さい。「主は私に言われた。「再び行って、夫に愛されていながら姦通している女を愛しなさい。ちょうど、ほかの神々の方を向いて干しぶどうの菓子を愛しているイスラエルの子らを、主が愛しているように。」2 それで私は、銀十五シケルと、大麦一ホメルと大麦一レテクで彼女を買い取り、3 彼女に言った。「これから長く、私のところにとどまりなさい。私も、あなたにとどまろう。」」ホセアとゴメルの結婚は、イスラエルの民の反逆だけではなく、その回復も描写するものでした。さらに重要なのは、ゴメルがどのように回復されたかです。ホセアは実際、彼女を売春から買い戻しました。つまり、代価を払って彼女を贖ったのです。そのことがイスラエルの民にとって、何よりも私たちにとって何を意味するのでしょうか。3章の終わりに、ホセアが代価を払って彼女を贖ったことがなぜ重要なのか、その預言的な意味が明らかになります。4-5節にはこうあります。「4 これは、イスラエルの子らが、これから長く、王もなく、首長もなく、いけにえも石の柱もないところに、エポデもテラフィムもないところにとどまるからだ。5 その後で、イスラエルの子らは帰って来て、自分たちの神である主と、自分たちの王ダビデを尋ね求める。そして終わりの日には、主とそのすばらしさにおののく。」民の罪は、祖国を失うという神の裁きを招きますが、神の憐みゆえに祖国を取り戻すとき、人々は自分たちが受けるに値しないにも関わらず神が示して下さった義と、慈しみと、憐れみと愛に立ち返り、真の神をおそれ、礼拝します。神は私たちにも同じことをしてください。私たちが愛し、憐れみと恵みによってご自分の元へと引き寄せて下さいます。私たちは神の善さを体験し、その恵みを見るとき、神を、そして救い主である神の御子イエス・キリストを心から礼拝するようになります興味深いのは、彼らが自分たちの神を求めているだけでなく、預言を通してホセアがダビデ王を求めることを示していることです。この時点でダビデはとっくに亡くなっていることを誰もが知っていますが、ユダヤ人は神がダビデの王座に常に誰かを置かれると約束されたことを知っていました。ですが、王の血筋が途絶えたとき、そこには王も王子もいません。エポデに象徴される真の神へのいけにえも、柱や偶像に象徴される偽りの神へのいけにえもなく、民はただダビデを探し求めました。それは、ダビデの血筋を受け継ぐ、完ぺきな王、メシアの到来についての預言でした。このメシアである王は、彼らの王となられます。それは、ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、すべての民を贖われる方、私たちの罪の代価を払うためにその血を流し、十字架に死んでくださる方だからです。ペテロの手紙 第一 1:1-19にはこうあります。「ご存じのように、あなたがたが先祖伝来のむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、19 傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの、尊い血によったのです。」イエス・キリストは自らの血を流されることによって、私たちが罪から贖い、その代価を払って下さいました。それは全て不実な人々に対する神の揺るぎない愛ゆえです。祈りましょう。

Hosea 2:1-3:5 The Picture of Redemption

Last week as we began this book of Hosea, we saw the picture of rebellion in Hosea's unfaithful wife, Gomer. She pictured the unfaithfulness of the people of Israel who were forsaking their God and worshipping idols. I pointed out that all of us are naturally in the state of being Gomer, of being unfaithful to our Creator God. Of course we call this unfaithfulness and rebellion against God, sin. Today as we begin looking at Hosea starting at chapter 2, verse 1 and continuing through the end of chapter 3, we see the picture of redemption. This is the solution to our rebellion and unfaithfulness. We need to see the explanation for how God can move from his statements of [Hosea 1:4-5](#). ⁴ [And the LORD said to him, "Call his name Jezreel, for in just a little while I will punish the house of Jehu for the blood of Jezreel, and I will put an end to the kingdom of the house of Israel. ⁵ And on that day I will break the bow of Israel in the Valley of Jezreel."](#) But wrap up that passage with the words of Hosea 2:1, **2 Say to your brothers, "You are my people," and to your sisters, "You have received mercy."** Israel was going her own way, and didn't care at all about God. That was their actual state before God, and that is our actual state before God. So, how do we become the people of God, and receive his mercy? What we see in this passage is the work of Redemption God does, to move a rebellious people to be his people. It is all by his mercy and his work.

Before we get to the redemption, though, we need to see their continued rebellion even as God tries to warn them against the path they are on. Verse 2 of Hosea 2 starts off by continuing to show the rebellious ways of Israel and is possibly talking about the actual actions of Hosea's wife Gomer as well. **Verse 2 says, ²"Plead with your mother, plead—for she is not my wife, and I am not her husband—that she put away her whoring from her face, and her adultery from between her breasts; ³lest I strip her naked and make her as in the day she was born, and make her like a wilderness, and make her like a parched land, and kill her with thirst.** God has already said through the illustration of Hosea's children that the people of Israel are not his people, because of their sin. Now Hosea through his children is telling the children that they need to be clear with their mother that her actions have separated her from him, and of course this reflects the condition of Israel, not just Gomer. The word plead is not really the best way to translate this idea in English. The idea is that the children should be calling out their mother, in a way rebuking her for her actions while calling for her to change. The children must distance themselves from their mother in the same way she has distanced herself from her husband in order to keep themselves from being drawn into her sin. The children are also in the best position to warn her against her actions.

Ultimately, Israel's chasing after sin and rejecting of their God does not lead to satisfaction. The reason they were rejecting God was because they thought there was satisfaction for their needs in these false gods, in other places outside of the God of the Bible who created them as a people. Look at the middle of **verse 5, For she said, 'I will go after my lovers, who give me my bread and my water, my wool and my flax, my oil and my drink.'** But then look at **verse 7. She shall pursue her lovers but not overtake them, and she shall seek them but shall not find them.** Satan makes sin look incredibly appealing, but God did not create us for sin, and ultimately sin will not bring the satisfaction we think it will. It's because anything that is truly good and morally right in this world does not come from Satan and sin, but from God himself. In [James 1:17](#), we see that... ¹⁷ [Every good gift and every perfect gift is from above, coming down from the Father of lights, with whom there is no variation or shadow due to change.](#) It seems that God intends this fact to draw us back to himself. This is what we see as **verse 7 continues. Look at the last part of Hosea 2:7, Then she shall say, 'I will go and return to my first husband, for it was better for me then than now.'** ⁸ **And she did not know that it was I who gave her the grain, the wine, and the oil, and who**

lavished on her silver and gold, which they used for Baal. These failed attempts to satisfy herself through sin should result in her coming back to her God, her creator. Instead of the water, wool, flax, oil and drink she is trying to find from her adulterous relationships, God says that he is the one who actually provided her grain, wine, oil, silver and gold. In other words, God gave these people who rejected him riches, and instead of them responding in worship to their God, they used that wealth to worship other gods, specifically the false religion of Baal worship.

Wooing them with blessing did not work, so God says that he will remove all that blessing in his efforts to get them to recognize and return to Him. Verse 9 says, ⁹Therefore I will take back my grain in its time, and my wine in its season, and I will take away my wool and my flax, which were to cover her nakedness. They needed to see that all of this belonged to God. It didn't come from their sinful relationships and actions, and it wasn't theirs to keep. But in their greed they saw what they had as theirs and failed to recognize the true source of their blessing and wealth. Look at verse 12 here in Hosea 2. ¹²And I will lay waste her vines and her fig trees, of which she said, 'These are my wages, which my lovers have given me.' So, in figurative language, God says he will destroy the possessions these former people of God received by selling themselves to various other lovers or idols in this analogy.

Chapter 2 ends with more words of judgement against their sin. God is taking away everything to try to get these people to see that they need to return to God, including having her own children point out their sin. Finally in verse 13, God the Holy Spirit speaking through Hosea returns to the gold and silver used to worship Baals. ¹³And I will punish her for the feast days of the Baals when she burned offerings to them and adorned herself with her ring and jewelry, and went after her lovers and forgot me, declares the Lord. Remember that the illustration here is Gomer, a wife who is cheating on her husband by selling herself to other men. And the illustration is moving back and forth between the people of Israel and her actions. The somewhat graphic picture of marriage and adultery is quite significant to the idolatry of Baal worship, because in this worship of the Baals, a significant part of the worship was temple prostitution. So, the illustration is highly symbolic to what is happening as the people are worshipping these false gods. And in these cases of adultery and idolatry, sin is never made to look ugly. It is dressed up with jewelry and rings. And the truth is that sin looks good. Rainbows originally given by God to represent his promise now represent people who are proud of their rebellion against God. Pornography is generally not intentionally trying to portray reality but perfect fantasy. Your marriage is stagnant and difficult, but that lady or man that you work with is wonderful and fun. That thing you want is better than what God has given you. The list could go on and on and on. Satan knows how to entice Christians away from God and use sin to keep people from turning to Jesus Christ for salvation. But here is what we miss. In describing Moses, Hebrews 11:25 says, ²⁵choosing rather to be mistreated with the people of God than to enjoy the fleeting pleasures of sin. The pleasure of sin is temporary. Galatians 6:7 says, ⁷Do not be deceived: God is not mocked, for whatever one sows, that will he also reap. And Romans 6:23 says, ²³For the wages of sin is death...

But this sermon is in reality not about continuing to show the picture of rebellion like we saw last week, but the picture of redemption that God will provide to these rebellious people. Because after promising judgement against their sin, starting with total rejection of them even though he created them as his people, something amazing happens at the end of chapter 2. Now, all of us are created by God, but like Israel and Gomer, we have rebelled, but this is the way that God is treating those he has chosen for salvation. Look at verse 14. ¹⁴Therefore, behold, I will allure her, and bring her into the wilderness, and speak tenderly

to her. This is beautiful! This is God seeking his people. Israel was not seeking God. All the judgement and rejection of them had not turned their hearts toward him. But God takes them into the wilderness where none of their idols are at. He removes everything they think is theirs, so he can speak to them with words of compassion and love for them. Then he gives them back what he took away. Look at verse 15. **15 And there I will give her her vineyards and make the Valley of Achor a door of hope...** He took away vineyards, but now restores them and gives them hope for life in this wilderness of famine and rejection that they find themselves in because of God's judgement. Then he restores them as his bride in verse 16. **16 "And in that day, declares the Lord, you will call me 'My Husband,' and no longer will you call me 'My Baal.' 17 For I will remove the names of the Baals from her mouth, and they shall be remembered by name no more.**

The primary point of this passage is not human marriage, but it does give us a strong illustration of hope for hurting marriages. Just as a human marriage can be restored after many failures, and I know after counseling a lot of very sin filled marriages for the last 20 years that it can, God's relationship with us can be restored. And that restoration happens through God's intervention toward us, not through us seeking God. He woos back his people because of his love that he has for them. Then dropping down to verse 19, we read, **19 And I will betroth you to me forever. I will betroth you to me in righteousness and in justice, in steadfast love and in mercy. 20 I will betroth you to me in faithfulness. And you shall know the Lord.** These people who rejected him and are not his people are promised that they will forever be married to their God. And that relationship is not based on the sin that they have clearly committed. It is based on God's righteousness, his complete lack of sin. It is based on his justice, the necessity that he punish sin and reward good, which they have none of, and neither do we. It is based on his steadfast love for them in spite of their sin. And this relationship with God is ultimately based on his mercy towards sinners, because none of us are deserving of this relationship to a Creator that we have sinned against. But when God forms the relationship, not based on our merit, but completely on him and his attributes, then it will be a faithful relationship. **I will betroth you to me in faithfulness. And you shall know the Lord.** We are unfaithful. We fail God and sin, but God is faithful to forgive and restore. The result is seen in verse 23 with a play on the names Hosea gave to the children. **23. ...And I will have mercy on No Mercy, and I will say to Not My People, 'You are my people'; and he shall say, 'You are my God.'** And here is the really cool and significant part of this for us. This book that is written to Jewish people who have as a whole been rejected by God, but are now being told that some of them are chosen to be his people is applied to us in the book of Romans. **Romans 9:22-26 says, 22 What if God, desiring to show his wrath and to make known his power, has endured with much patience vessels of wrath prepared for destruction, 23 in order to make known the riches of his glory for vessels of mercy, which he has prepared beforehand for glory—** It is these vessels of mercy that are the subject of Hosea's words here that are being told, you are my people, and I am your God. And here is the significant part of this starting in Romans 9:24. **24 even us whom he has called, not from the Jews only but also from the Gentiles? 25 As indeed he says in Hosea, "Those who were not my people I will call 'my people,' and her who was not beloved I will call 'beloved.'" 26 "And in the very place where it was said to them, 'You are not my people,' there they will be called 'sons of the living God.'" So the significance of this promise that God would bring some of these rebellious people into a relationship with him based on his mercy is even more important to us, because he is saying that those people who would receive his mercy would not just be Jews, those called the People of God in the Old Testament, but would also be gentiles, who were not the Old Testament chosen people of God. All of us in here today who know Christ and are not of Jewish descent should be especially thankful for the mercy of God shown to us by God choosing to bring us into a**

relationship with him. We who were not people of God are the people of God by his choice, by his righteousness, because of his love and his mercy.

And then God gives a tangible picture of that restoration and shows how that restoration happens in the marriage of Hosea and Gomer. Look at Hosea 3, which only has 5 verses.

3 And the Lord said to me, “Go again, love a woman who is loved by another man and is an adulteress, even as the Lord loves the children of Israel, though they turn to other gods and love cakes of raisins.” ² So I bought her for fifteen shekels of silver and a homer and a lethech^[a] of barley. ³ And I said to her, “You must dwell as mine for many days... so will I also be to you.” The marriage of Hosea to Gomer pictured not only the rebellion of the people of Israel, but the restoration of the people of Israel. More importantly, in the restoration of Gomer, how she is restored is important. Hosea actually bought her back out of prostitution. In other words, he redeemed her by paying a price for her. What does this have to do with Israel or more importantly with us. As Chapter 3 ends, we are given a prophetic idea of why this is important that he paid to redeem her. Verse 4-5 says, **4** For the children of Israel shall dwell many days without king or prince, without sacrifice or pillar, without ephod or household gods. Afterward the children of Israel shall return and seek the Lord their God, and David their king, and they shall come in fear to the Lord and to his goodness in the latter days. The sin of the people will lead to judgement by God in losing their kingdom and homeland, but when they return by God’s mercy, they will return worshipping or fearing the true God and returning to the goodness and grace and mercy and love that he has shown them when they do not deserve it. He does the same to us. He loves us, he draws us in mercy and grace to himself, and when we experience his goodness and our eyes are opened to his grace we will truly worship God and Jesus Christ God the Son as our Savior. And it is interesting here that they will not only seek their God, but through prophecy Hosea is pointing us to their seeking of king David. Now, everyone knows that David is long dead by this time, but for the Jews especially, they know that God promised to always have someone sit on David’s throne. Yet, when that kingly line is no more, there is no king or prince. There is no sacrifice to the true God represented by the ephod or to the false gods, represented by the pillar and household idols, but they are looking for David. This is a prophecy of the coming king who would be the perfect king that will come through David’s line...the Messiah. This Messiah, this king would be their king because he would purchase all of his people, those who are Jewish or Gentile as we saw before, back by shedding his own blood and dying on a cross to pay the price for our sin. **1Peter 1:18-19** says, **18** knowing that you were ransomed from the futile ways inherited from your forefathers, not with perishable things such as silver or gold, **19** but with the precious blood of Christ, like that of a lamb without blemish or spot. Jesus Christ redeemed us from our sins, paid for those sins, by shedding his own blood. And this all happens because of God’s unfailing love for his unfaithful people. Let’s pray.